

視点

病院団体が緊急要望 深刻な経営危機を訴える

四病院団体協議会に日本慢性期医療協会を加えた5団体は1月22日、福岡資磨厚労相らに緊急要望を行った。多くの病院が深刻な経営危機に陥り、地域医療が崩壊しかねない状況にあると主張。これを回避するため、緊急的な財政支援措置とともに、物価・賃金の上昇に対応できる診療報酬の仕組みを導入することを求めている。

日本病院会の相澤孝夫会長は、「収入増をはるかに上回るスピードで経費が増えていることが原因だ。物価高騰・人件費上昇で会員病院から悲鳴が上がっている」と

訴えた。どの業界も経費増に苦しんでいる昨今だが、医療機関の収入となる診療報酬は物価・人件費に応じた調整が十分ではなく、公定価格であるため患者に価格転嫁することもできない。

政府・与党が無策だったわけではない。令和6年度診療報酬改定では、医療従事者賃上げを最重要課題とし、ベースアップ評価料を新設。令和6年度補正予算ではエネルギー価格等の高騰に対応するための交付金があり、「人口減少や医療機関の経営状況の急変に対応する緊急的な支援パッケージ」

に1311億円を計上した。入院時の食事基準は令和7年度予算案で令和6年度改定とあわせ50円の引上げとなる。

経済環境の変化が大きくこれでは十分な対応にならないというところか。デフレ時代にできた仕組みが不整合を起している部分もある。現在議論が進む新たな地域医療構想も時代の変化のなかで病院が生き残るための方法である。ただ急激な変化で病院の廃業が続けば、地域で我々が医療を受けられなくなってしまう。緊急的な措置は必要ではないか。

社会保険旬報

目次

No.2953 2025年2月1日

視点

病院団体が緊急要望
深刻な経営危機を訴える 3

座標

中医協に食事基準額改定など諮問
日医が診療所の医療DXで調査 4
国大病院が医師派遣の状況を発表
WAMが介護報酬改定でアンケート 5

インタビュー

不断の改革を通じて、持続可能な
医療提供体制と皆保険制度を確保
厚生労働大臣 福岡資磨 6

論評

ヘルスケア潜在価値会計
保健事業の評価と意思決定支援の
ための管理会計
上田琢磨 岩崎宏介 村山令二 10

霞が関と現場の間で⑥

2025年の初めに思ったこと
中村秀一 19

潮流

厚労省が令和5年患者調査を公表 20
病院5団体が厚労相に緊急要望 22
中医協が薬価算定基準を了承 23

NEWS

四病協が新年交流会を開催 ほか 24

療養の給付の取扱いについて 27

第61回診療報酬請求事務能力認定試験

医科・実技試験問題の解答と解説 43

年金の動き 45

編集室・ワードカプセル 46